

第133回研究倫理審査委員会 議事要旨

開催日時：令和6年12月12日（木）13:30～14:30

場所：出雲キャンパス大会議室

出席委員：（外部委員）
飯塚 雄一 委員
田中 真美 委員
真玉 保浩 委員
（内部委員）
橋本 由里 委員長
川瀬 淑子 副委員長
谷村 綾子 委員
中谷 陽子 委員
吉松 恵子 委員

1. 議題

(1) 下記申請書1件の審査

No. 418

申請者：板持 智之

課題名：ピラティスの要素を取り入れたセラバンド運動が身体機能にもたらす影響

結果：【条件付き承認】

以下の点について検討・必要な修正をし、再提出を求めることとした。

(該当箇所順)

No	該当箇所等	指摘項目	指摘内容
1	P1	研究タイトル	分析方法とタイトルに齟齬があるので、より適したタイトルを検討すること。
2	P2・5 ほか	研究対象者	大学生とあるが、その年齢・立場は様々である。想定する年齢等があるなら明記すること。
3	P2・6 ほか	ランダム化	完全なランダムでよいか再検討すること。例えば、群による性別の偏りが結果に影響を与えないか等。
4	P2・10 ほか	収集データ	P20の計測項目に体重があるが、計画書や説明書にはない。測定するなら明記すること。
5	P3・12 ほか	謝金	参加者間で謝金に差があることや謝金を明記して募集することの妥当性を、参加者間の平等性・研究結果への影響有無の観点から再検討すること。謝金受領に関する書類を加えること。
6	P3・11 ほか	同意撤回時期	研究終了から2週間とあるが、研究終了の定義が不明確である。分析も含めた研究全体の終了ではなく、参加者の最終計測から等の想

			定があるなら明記すること。
7	P11	スポーツ保険と危険性	説明文にスポーツ保険への加入の記載がないので、5に追記すること。参加者費用負担が保険についてもないことを明記すること。 また、危険性は少ないとは、運動である以上言い切れないので、表現の削除かほか適切な表現を再検討すること。
8	P11	負担感への問い合わせ	研究を継続していく上での負担感が生じた場合等にも問い合わせられることを項目5に明記すること。
9	P11	体調不良時の実施見合わせ	月経周期によるものが含まれるのか、不明確なので明記すること。
10	P12 ほか	問い合わせ先	問い合わせ先の項目を統一し、電話連絡先を追記すること。
11	P17・18	募集用ポスター	誤字・脱字の修正、運動習慣の定義等、必要な情報を追記すること。
12	P22 ほか	運動時の設備	安定した座位が必須の運動であるため、椅子等の所有の確認、あるいは貸出の必要性について検討すること。
13	—	測定時の配慮	測定時、他参加者等から測定値が見えない/聞こえないようにパーティションをたてる等、配慮をすること。
14	—	測定時期の配慮	月経周期が、利用予定の計測機器や、研究結果に影響を与えないか検討すること。
15	—	対象者の生活の変化への対応	対象者の生活に制限を依頼する（過度な運動はしない等）内容があるか、生活上大きな変化（感染症やイベント等による過度の運動など）があった場合のデータの取り扱い（分析に利用するのかどうか等）について検討し、明記すること。 また、自己申告時に、該当する生活上大きな変化を申告してもらえよう回答欄を工夫すること。

(2)迅速審査で承認した申請書の報告

事務局より、9月以降 迅速審査で承認した申請13件および一括審査による多機関共同研究参加機関のため審査は不要と判断した申請1件について、別添資料のとおり報告があった。

2. その他

次月開催予定日の確認がなされた。

議事記録者名(事務部管理課：齋藤 伸朗)